

平成23年5月10日

各ドクターヘリ運航病院長・救命救急センター長 殿

認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net）
理 事 長

ドクターヘリ運航病院が開催する「安全研修会」に対する助成金交付事業の
開始について

前 略 この度の東日本大震災に際しては、全国から総数18機のドクターヘリが災害
現地に入り、大活躍をしたことは、全国に広く報道されたとおりであります。

関係の皆様の高貴な使命感とご尽力に心から敬意を表します。

さて、HEM-Netは、ドクターヘリ特別措置法にいう助成金交付事業として、平成22年
度から始めた「ドクターヘリ搭乗医師・看護師等研修助成事業」に加えて、平成23年度
から、新たに、各ドクターヘリ運航病院が主催して行う「安全研修会」に対し、一定の要
件を満たすことを条件に、助成金を交付する事業を始めることといたしました。

その目的とするところは、次のとおりであります。

各ドクターヘリ運航病院にあっては、従来から、ドクターヘリの安全運航を期するため、
各種の研修会を開催してこられたことと存じます。

ただ、それらは、ともすると、医師は医師だけの、パイロットはパイロットだけの間で
個別に行われ、ドクターヘリの運航に係わって協働するすべての関係者が一堂に会して、
横断的な研修を行い、お互いの職務への理解を深め、関係者間のコミュニケーションの
円滑化とチームワークの向上を図ろうとする類のものは、なかなか行われ難い実情にある
と聞き及んでおります。

しかしながら、各種事故防止対策の専門家によりますと、現実の事故は、現場で協働す
る関係者間の意思の疎通に齟齬がある場合に多く発生するとのことでもあります。

そこで、HEM-Netは、こうした専門家の見解も踏まえて、ドクターヘリ運航病院に、医
師、看護師、パイロット、整備士、CS、消防関係者、警察関係者など、ドクターヘリの
運航に係わって協働する関係者を広く一堂に集めて、相互のコミュニケーションの円滑化
とチームワークの向上を図る「安全研修会」を積極的に開催していただくことを推進する
助成事業を行うこととしたものであります。

助成の対象になる「安全研修会」の要件は、別添の「ドクターヘリ安全研修会助成要綱」所定のとおりでありますが、ざっくりと申して、次の三つであります。

その一は、ドクターヘリの運航に係わって協働する関係者を、可能な限り幅広く、一堂に集めて、研修会を開催することです。

関係者がお互いの仕事の意義をよく認識し、意思疎通の良化とチームワークの向上を図るためには、このような全員集合型の研修会の開催が効果的だからです。

その二は、HEM-Net の推薦に基づき派遣される、各種事故に係るヒューマンファクターに関する専門家を講師とする基調講演をセットすることです。

この種の専門家は、各地域において、個別に見つけ出すことは、なかなか困難な状況にあると思われます。そこで、HEM-Net において、全国的な整合性を持たせながら、あらかじめ選定した専門家を派遣することとしたものであります。

その三は、それぞれの職域を代表する関係者が、パネリストになって、適宜、パネル形式の討論を行い、ドクターヘリの安全な運航を図るため、相互のコミュニケーションの円滑化とチームワークの向上を図ることです。

テーマの選択は、自由であります。各々の安全運航に関する見解を披歴することもいいでしょうし、他の職域の者に対し、ドクターヘリの安全運航を図る上での要望を述べることもいいでしょうし、いわゆる「ヒヤリハット」の体験を披露することも結構であります。

これら三つの要件を満たしている限り、実際に行う「安全研修会」において、各ドクターヘリ運航病院が、その判断により、各病院の実情に応じて必要と思われる別の研修テーマ、例えば、現場における医療措置の安全確保の問題などを付け加えたり、あるいは、独自の講師を招聘したりすることは、ご自由であります。

ただし、研修の所要時間は、おおむね、全体で半日程度に止めることが望ましいと思われれます。

各ドクターヘリ運航病院が、上記の要件を満たす「安全研修会」を主催した場合、その開催に要する通常のコスト、すなわち、研修会の広報費(チラシの作製費など)、会場借上費、茶菓代(研修会の開催がやむを得ず夜間に及ぶ場合の簡単な夜食代を含む。)、配付資料作成費、会議録作成費、事務費(定額30000円)などは、一回の研修会について30万円を上限として、HEM-Net が助成いたします。

ただし、出席者の日当・交通費は、助成の対象にいたしません。

なお、HEM-Net が派遣する講師に要する費用は、主催病院に代わり、HEM-Net から、

当該講師に対し、上記の助成額とは別に、直接、支払うことといたします。

この種の研修会は、反復継続して行うことに意義があるということもございますので、運航病院によっては、年に複数回、開催したいというところもあると存じます。

そのような場合は、HEM-Net 事務局まで、ご相談ください。予算のやり繰りがつく限り、複数回の研修会の助成を行います。 その他、初めての試みでありますので、実施上の疑義がでてくることは、当然予想されますが、HEM-Net としては、出来る限り、柔軟に対応し、医療現場のご要望に応えてまいりたいと存じております。

このプロジェクトに対する各位の積極的な参画を期待しております。 不 一

[連絡先] HEM-Net 事務局
(TEL) 03 - 3264 - 1190
(FAX) 03 - 3264 - 1431
(E-Mail) hemnetda@topaz.plala.or.jp